

拡大図① 浜見平北口付近



拡大図② ハマミーナ付近



茅ヶ崎市南西部複合施設「ハマミーナ」

- 施設(1F)**
- 包括支援センターすみれ
 - ボランティアセンター湘南ハート&ハート
 - 浜見平保育園
 - 浜見平保育園地域育児センター
 - 福祉相談室 すみれ
 - 茅ヶ崎市役所 ハマミーナ出張所
- 施設(2F)**
- ハマミーナまなびプラザ (会議室、調理室、音楽スペース)
 - ハマミーナ図書室
- 施設(3F)**
- ハマミーナまなびプラザ (小体育館)



歴史を知ろう

この湘南地区は、江戸時代から「柳島湊」として発展し、伊豆半島や箱根連山、さらには霊峰富士から丹沢を仰ぎ見る景勝地として知られていました。

1 記念碑のある浜

漁業に携わる人たちの神様、八大龍王の石祠があり、そこに並んで3基の記念碑が建っています。

湘南道路之碑 (昭和11年:1936)

国道134号線は、通称「湘南道路」と呼ばれ、建設当初は「湘南遊歩道」といわれました。昭和10年に湘南大橋を除く片瀬町瀧口寺前(現・藤沢市)から大磯町郵便局に至る全長16.7kmが完成しました。

相州鉄砲場並柳島湊跡之碑 (昭和44年:1969)

江戸時代、この地にかつて湊があったこと、柳島にあった「地頭林」を西端に、片瀬あたりまで砲術訓練場があったことを、後世の人達に伝えるために、この碑が建てられました。

善行者の碑

敗戦後の日本は燃料難で、湘南道路沿いの松林は、燃料として切り倒されてしまい、今のキャンプ場周辺の松林のみ残りました。これを守ったのが、関東大地震まで小出川べりで遊覧宿をしていた内藤亀太郎でした。この碑は彼の功績をたたえたものです。



2 柳島閘門跡と記念碑

現在柳島ポンプ場がある場所に、柳島閘門がありました。閘門は普段は扉を開けて上流からの水を流し、増水時は自動的に扉を閉ざして逆流を防ぐ役割を果たしていました。

昔、柳島は低湿地のためいつも水害に悩まされていたので、水害から守るために昭和2年(1927)湘東耕地整理組合が堤防を築くとともに、閘門が設けられました。閘門は、昭和50年に近代設備のポンプ場が完成して廃止されましたが、有志の手によってポンプ場の道路沿いに記念碑が建てられました。



4 藤間柳庵と藤間資料館

藤間家13代の藤間柳庵翁は、本名を善五郎といい、享和元年(1801)に生まれました。9歳のころから書を習い、読書を好んだ父の影響を受けて11歳から学問を始め、江戸に出て学んだといひます。書家秦星池に学んだという書は、その見事な筆跡が彼の記した「家脈弔祭記」「雨窓雑書」「太平年表録」などに残されています。名主としての公務を務めたほか、家業の回船業では観音丸・不動丸などを所有し、江戸をはじめとして広範に活躍しました。

明治16年(1883)永眠。昭和55年に「かながわの100人」に選ばれました。「藤間資料館」は私設で常時公開ではありませんが、同家に伝わった家具・調度品を中心に、柳島湊に関する古文書や道具類などが多数保存されています。

